

スキークラブニュース 2014年4月号

クラブ史上初！ 雪でスキーツアーが中止に!!

今シーズンも2回のスキーツアーが企画され、1月の岩原は全員無事に帰ってきました。ところが、2月15～17日のツアーは、なな、なんと！14日から降り出した今年2回目の大雪により参加者が集合できない事態となり、クラブ史上初、雪によるスキーツアー中止の珍事が起きました。来年、創立30周年を迎えるにあたり、クラブ10大ニュースの上位にランクされることでしょう。

I. 岩原ツアー報告

1月岩原ツアー報告 2013年度実行委員 矢部健三

去る1月24日(金)～26日(日)に、新潟県南魚沼郡湯沢町の岩原スキー場へのツアーを実施しました。参加者は、ブラインド10名、パートナー20名、キッズ3名の計33名。昨年同様、東京駅発着の新幹線で移動。宿はホテルアルパインでした。25日(土)は天候に恵まれ、ABCの3班+キッズ班に分かれてスキー。皆さん気持ちよくシュプールを描いていました(怪我の私は一人宿に残って温泉三昧でしたか)。夜も自由参加の懇親会で大いに盛り上がりました。26日(日)は、朝から雨のぱらつくあいにくの天気。そのため、スキーはABの2班+キッズ班に縮小。新たに結成された湯治班は、温泉やビールでまったり。怪我人もなく、無事にツアーを終えることができました。パートナーの皆さん、ありがとうございました。そして、今回初めて参加して下さった親子の藤原さん、ご一家の浅野さん、これからもよろしくお願いします!!

その藤原さん、浅野さんに感想を書かせていただきました。

藤原陽一郎

ブラインドスキーツアーに初めて参加の雄一郎です!…と言っても印象が薄いので誰だかわからないと思った方、藤原早苗の息子と言ったおわかりでしょうか? 元々ブラインドスキーは、ラジオ局の担当していた番組で取材したのが縁で父が参加するようになったそうです。もうかれこれ20年近く前の事だそうですが…何でも当時のブラインドスキーはサブの笛を吹く方がけてペアで滑って行ったそうで、時代と共にこちらのスキーも進化しているのだと思いました。

今回は父に替わり初めて母と二人で参加した訳ですがもう緊張の連続でした。初日に30分ほどブラインドスキーのレクチャーを受けその後はもう本番でした。最初はパートナーのサブで後ろを滑りましたがその後遂に「声掛け」の役が…「右」「左」緊張に声が震えながらなんとか滑り終えた時はどっと汗が! 滑るごとにコツもつかんできましたがブラインドの方、ボクの時はいかだったでしょうか? 4月からは教員養成系の大学に進みますが、今回のブラインドスキーはその為の大変良い経験になりました。また来シーズン、お声がかかりましたら参加させていただきたいと思います。

浅野裕一

新潟県点字図書館に勤めている妻からブラインドスキーに参加しないか?と言われたのは昨年未の事。私自身も視覚障がい、パソコン教室の手伝いをさせてもらっていますが、ブラインドスキーに参加する機会などなかなか無いと思い、妻と子供二人と参加させてもらうことになりました。

スキー当日、「1日4、5本なんて又ル、滑りはしませんよー。」その言葉通り、皆さんの気合が感じられます。スキーのギアも気合の入った装備、ヘルメット姿も凛々しいです。こちらもテンションが上がります。ここ数年、子供と半日滑っておしまいでしたが、20代の頃はスキーにハマってました。ブラインドスキーのレクチャーのあと、皆で準備運動。体育会の合宿のような雰囲気かたまりません。

使うゲレンデは幅広で長い中斜面。ブラインドスキー初体験。今回パートナーは後ろから声をかけて滑るスタイル。なんと「2m以上離れないで」との事。えー、そんな近づくの？しかも結構速いし！メチャ緊張しました。午後は志村さんにブラインド役になってもらい、パートナー役を練習？しました。2日目はなんと町田さんのパートナー役に！（町田さん、すいません。不慣れなパートナーで・・・）それにしても皆さん、滑りますねー。お昼もビール飲んだりはナシ！（スゴイ！）その分、夜、ガツガツ呑まれてましたね。（笑）夕食後に寝てしまい、懇親会に参加できなかったのが残念でした。今回、子供たちも大変お世話になりました。息子の周平は二日続けて姿をくらまし、皆さんにご心配をおかけしました。娘のすすも皆さんに相手をしてもらい大変楽しかったようです。これまで学校以外で、こういう団体行動をしたことのない二人にとっては、良い経験だったと思います。僕も久しぶりに1日フルで滑ることができ、またスキーへの熱が再燃しました。機会があれば、また「合宿」に参加させて頂きたいと思います。初めての参加にも拘らず、皆さん気さくに接して下さい楽しく滑る事ができました。ありがとうございました。

2014年岩原ツア- 会計報告

会計担当：射場正行

収入の部	参加費	¥29,000	x 30	¥870,000
	現地集合	¥16,050	x 4	¥64,200
	JR払戻金	¥5,960	x 1	¥5,960
	合計			¥940,160
支出の部	宿泊費			¥373,200
	交通費			¥305,540
	リフト代			¥125,000
	傷害保険			¥19,015
	諸雑費			¥26,110
	キャンセル返金			¥21,000
	余剰払戻金			¥60,000
合計			¥929,865	
収支合計				¥10,295

残金は岩倉ツア-への繰越しを参加者の皆さんにご承認いただきました。

II. (中止になったけど)岩倉ツア-顛末記

2月岩鞍ツア-報告 2013年度実行委員長 西川 隆之

2014年2月15日(土)~17日(月)に35名の参加者にて実施を予定していた尾瀬岩鞍ツア-は、20年ぶりの記録的豪雪・悪天候に伴う各公共交通機関のマヒ、岩鞍までの交通の安全面等を考慮し、ツア-は中止となりました。実行委員会としても、過去に前例のない状況の中、2月15日(土)の早朝に苦渋の決断の末、中止にさせていただきました。

以下に簡単に経緯を報告いたします。

〈中止判断の経緯〉

6:42 中止判断

関東圏における各種交通機関の運行停止情報入手

実行委員メンバー内で相談、以下の理由により安全なツア-運営が困難と判断し、ツア-中止を確定

- ・集合場所である横浜駅までの交通マヒ
- ・バスによる岩鞍までの交通状況

6:50 参加者(35名)へのツアー中止連絡開始

実行委員にて役割分担

- ・全体統括、進捗管理担当
- ・各参加者への個別連絡担当
- ・集合場所(横浜駅)待機担当

7:45 参加者35名への連絡完了

〈ツアー中止後について〉

ツアー中止後の対応として、キャンセル料を確定するため、交通費、宿泊費、保険料等、その他各項目を確認、交渉を実施しました。

その結果、必要最低限の経費のみのキャンセル料に抑える事ができ、1泊参加者は3000円、2泊参加者は4000円を頂戴する形となりました。

各項目ごとの確認等に時間を要し、参加予定者の皆さまにおかれましては、返金対応が遅れてしまい大変申し訳ありませんでした。

最後に、ツアー自体が取りやめになるという初の事例であり、実行委員会としても大変残念な結果となりましたが、参加者の安全面を第一に考えた上での判断とさせていただきますので、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。来年度もよいツアーになるよう実行委員一同取り組みたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2013-2014岩鞍ブライندスキー会計報告

会計担当:小幡次男

収入の部	参加費(徴収分)	¥26,000 x 33 =	¥858,000		
	キャンセル代(2泊分)	¥4,000 x 3 =	¥12,000	未徴収3名	
	キャンセル代(1泊分)	¥3,000 x 1 =	¥3,000	未徴収1名	
	銀行利息	¥10 x 1 =	¥10		
	2013年度岩原繰越金	¥10,295 x 1 =	¥10,295		
合計 ①			¥883,305		
支出の部	宿泊費(キャンセル代)	¥1,000 x 69 =	¥69,000	宿キャンセル分¥2,000/泊/人のうち、¥1,000本部負担	
	保険料(キャンセル代)	¥0 x 37 =	¥0	¥550x37=¥20,350は返金。振込/返金手数料のみ発生	
	交通費(キャンセル代)	¥0 x 0 =	¥0		
	実行委員活動費	交通費(ガス代)	¥6,045 x 1 =	¥6,045	志村さん前泊分
		交通費(高速代)	¥4,950 x 1 =	¥4,950	
		宿泊費	¥0 x 1 =	¥0	志村さん前泊分、かぶらぎさん厚意により無料
		交通費(バス申し込み)	¥1,060 x 1 =	¥1,060	
		交通費(実行委員会)	¥59,180 x 1 =	¥59,180	
		通信費(はがき/切手)	¥45 x 1 =	¥45	
	振込手数料	宿用(事前振込)	¥420 x 1 =	¥420	
		宿用(返金分)	¥420 x 1 =	¥420	
		保険(事前振込)	¥105 x 1 =	¥105	
	その他	宿お土産	¥3,150 x 1 =	¥3,150	
	支出小計 ②			¥144,375	
	返金	事前キャンセル分(キャンセル料:¥0)	¥26,000 x 2 =	¥52,000	
二泊分(キャンセル料:¥4,000)		¥22,000 x 29 =	¥638,000		
一泊分(キャンセル料:¥3,000)		¥23,000 x 2 =	¥46,000		
返金小計 ③			¥736,000		
合計 ④ = ② + ③			¥880,375		
収支合計 ① - ④			¥2,930		

Ⅲ. JRPS ユーススキーツアーに参加しました

3月1~2日、JRPSユース部会が主催する岩原スキーツアーのサポートに参加しました。3月初旬の越後湯沢はすでに雪が降り始めていて、初心者には気の毒なゲレンデ状態でしたが、そこは若さで大いに楽しんでもらえたようです。参加したユース部会の皆さんからお礼のコメントを頂きましたので、皆さんにご紹介します。

西川隆之

この度は、3/1、2に開催しましたユーススキーツアーにご参加いただきまして誠にありがとうございました。ブラインド8名に対し、クラブ晴眼の方13名と、多くのクラブ晴眼の方にご参加いただくことで、無事ツアーが開催できました。

当日は運営面やパートナーとしての役割にて、多々サポートをいただきありがとうございました。

当日の運営面では、実行委員として至らない点が多々あり、皆さんにご迷惑をおかけする場面もあり、大変申し訳ございませんでした。実行委員としての課題は次回以降に改善できればと考えております。ユース参加者一同、大変貴重な経験をさせていただいたことを感謝しております。二日目の昼食時に実施したユース参加者だけのミーティングにて、今回のツアーの感想を聞きました。

以下簡単に皆さんの感想について、ご紹介させていただければと思います。

(箇条書きにて失礼します)

■ユースメンバーの感想(ユースミーティングより)

- ・クラブの雰囲気がよく、とても居心地がよかった
- ・晴眼の方々は皆いい人たちばかり。宴会も楽しく、一個人としても深い話ができてよかった

- ・BSの指導のベテランの方々ばかりで、具体的に的確な指導をしてもらい、大変わかりやすかった
- ・ユースメンバーは見えづらさとスキー技術と、二つの課題がある。晴眼の方々が皆さんBSの指導力、スキーの技術力の双方を兼ね備えていて、両方 サポートしてもらうことができるので安心感につながる。また、自分自身の課題を見つけやすくて大変よかった
- ・生きて宿に戻ってこれました。
- ・なかなか思うように滑ることができず、迷惑をかけすぎて申し訳なかったです。でもとてもいい経験をさせてもらい大変感謝しています。参加して本当によかったです。
- ・本来自身の弱視により見えなくてできないことを、サポートをいただくことでできるようになることが本当にすごい。スキーの楽しさを知ることができた。
- ・他のユースの人たちにも参加してもらい、このツアーの楽しい気持ちを味わってもらいたい

ユースでは会員同士で様々なイベント・行事を実行委員会を編成し企画立案から運営まで行います。もちろん会員同士で実施するメリットも多くありますが、実施したいこと、やってみたい企画内容によっては、どうしても僕らの弱視では実現が難しい 場合があります。今回のような「スキーをやりたい」というユースメンバーの声に対し、耳を傾けていただいた今回ご参加の方々のご厚意により、本企画が実現できました。

ご多忙のさ中にもかかわらず、貴重なお時間を割いていただきご協力いただきましたこと改めて厚くお礼申し上げます。

これからもユースは組織として、そしてメンバーひとり一人いろんなことにチャレンジしていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

竹内和沙

名古屋の竹内和沙です。2日間お世話になりました。初参加初スキーで右も左も分からない私を暖かく迎えてくださりありがとうございました。皆さんのおかげでスキーが好きになりました。家族みんな怪我なく元気に帰ってきたことに驚いていました(*^~^*)

行き帰りの電車も食事の時間もすごく楽しくてあっという間に終わってしまっていて寂しいですが、素敵な思い出ができました。また関東に行った際はよろしく願います。またお会いできることを楽しみにしています(*^_^*)

竹村聖子

先日のスキーでは、実行委員の皆様を始め、神奈川ブラインドクラブの皆様には大変お世話になりました。本当に楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。カズー同様、私も2日間でスキーが更に好きになりました！

後ろから「いいよ～上手、上手！」とずっと励ましてくれた早苗さん、膝の曲げ方を分かりやすく教えてくれた串田さん(曲げることができたときに褒めてもらえて本当に嬉しかったです!!)、私が滑りやすいように通る声で後ろから指示をくれたマリちゃん、絶妙な速さで的確な指示を出しながら誘導してくれた美咲さん(昼食時のビールの飲みっぷりにも感動しました)、本当にありがとうございました。また、スキーで関わることがなかった皆さんとも宴会などを通してお話することができて、とっても楽しく、別れ際はさみしく感じました(笑)また、今後も仲良くして頂けると嬉しいです。本当にありがとうございました。

鎌田久美子

かながわブラインドスキークラブ 役員各位

いつもお世話になっております、JRPSユースの鎌田久美子と申します。

この度は、JRPSユースの「ブラインドスキー体験企画」に貴クラブの協力をいただけ、無事に開催できましたこと、深く御礼申し上げます。昨年に引き続き2度目の開催を怪我もなく終えられたのも、貴クラブの皆さまのご指導、ご配慮あってのことだと思っております。実行委員、参加して下さったサポーターの皆さま、本当にありが

ありがとうございました。今後とも、機会がありましたら、ブラインドスキーを多くの視覚障害のある方々へ広めていけるような活動をしていきたいと思っております。

簡単ではございますが、取り急ぎ御礼とさせていただきます。

越石裕之

かながわブラインドスキークラブの皆様ユーススキー参加者の皆さん

お疲れ様です。

3月1日・2日に行われたスキーツアーに初参加させていただいたユースの越石裕之(こっしー)です。皆様お元気でしょうか。

先日のスキーツアーでは皆様本当にお世話になりました。スキーツアーからもう半月以上が経過したと思うと、楽しかった思い出とさびしい気持ちが同時にこみ上げてきます。初日はまともにスキー板に乗ることもゲレンデの上に立つこともままならない状況で、カニ歩きの練習から何時間も手伝っていただき、晴眼の皆さんには多大なるご迷惑をおかけしたかもしれません。

しかし、2日目の午前中は山から降りるのも一苦労だったのに対し、午後はリフトに乗って時間をかけながら山の上からホテル方向に滑り降りることができ、大変な爽快感を得られました。他のメンバーも書いていたと思いますが、2日間でスキーを好きになることができました。これも、丁寧にサポートして下さったクラブ晴眼の皆さんのお力添えのおかげと思っております。

今回、スキーそのもののみならず、宴会や新幹線での移動など、たくさんの皆さんと交流する機会をいただき、本当に感謝しています。2日目の午前中になかなか山から降りられずに、昼食の時間に大幅に遅れながらも無事に生きて帰った自分を温かく迎えて下さった晴眼の皆さんの顔、宴会会場での明るいホテルオーナーさんのお話し、越後湯沢駅で日本酒を試飲しているときの皆さんのうれしそうな表情、名古屋の3人組でお菓子食べながら東京～名古屋間を往復したこと、ここには書ききれないほどのたくさんの思い出を、俺は絶対に忘れません。2日目の昼食後のブラインドミーティングでは、自分がこんな素敵なユースメンバーの一員でいられることが本当に幸せに思えました。ユースのみんな(西川さん・聖子さん・かまっち・まよさん・かずさ・ふみや・そして新メンバー?)の杉様、これからもよろしくね、本当に充実した2日間でした。

今回、縁があってかながわブラインドスキークラブの皆さんにお会いできたことを光栄に思います。

宴会でもお話したように、私は7年前の2007年に横浜二俣川のライトセンターに見学に行ったことがあります。その際にいただいた資料に、「JRPSユース」と記載してあったのを去年思い出したのですが、2007年当時はまだ実感がわかず、たまたま就職して名古屋に移住したことで再びJRPS及びユースに出会うきっかけに恵まれ、巡り巡って7年ぶりに神奈川ライトセンターの皆さんと出会えたことで本当に運命の不思議さを感じています。今回のツアーで感じたスキーの楽しさ、視覚障害者でも工夫次第で可能性が広がるという実感、大切な仲間が存在など多くの思いを忘れずに、日々の生活に生かしていきたいと思っております。

今回のツアーに関わられたすべての皆さんの幸せを願って、また来年以降も機会があれば参加させていただきたいと思っておりますので、その際にはよろしく願いいたします。貴重な経験をありがとうございました。またお会いする機会を楽しみにしております。

IV. 2014年度総会開催のお知らせ

日時： 2014年 5月18日(日) 14:00~17:00

会場： 神奈川県ライトセンター 2階 第1会議室AB

内容

〈議事〉

1. 2013年度 事業報告・決算報告
2. 2014年度 事業計画・予算案

3. クラブ会則の改定について

4. その他

*2014年度ツアーについて

*30周年事業について

*その他の行事について

<意見交換>*

- ☆ 今年は30周年を控え「かながわブラインドスキークラブ会則」を見直し改正案を審議する大事な総会です。1985年夏に「神奈川県視覚障害者スキー協会」としてスタートしたときの原点を再確認し、ポスト30年に向けて知恵を出し合いたいと思います。是非ご参加ください。

総会終了後 恒例の懇親会は昨年の忘年会で好評だった「仕立屋二俣川ライフ店」を予定しております、詳細は未定ですが決まり次第ご連絡いたします。

総会・懇親会のハガキ返信について

- ☆ ブラインドの方は出欠回答ハガキの切れ目の入った角を左下にして右上の対角線上の角が総会と懇親会の両方に参加する方、左上が総会だけに参加する方、右下が懇親会だけに参加する方として、1センチ程度斜めに切り取ってください。
- ☆ 総会に欠席される方は出欠回答ハガキの文書面に押印又はサインをいただければ議長に対する委任状とさせていただきます。
- ☆ 毎年委任状が少なく総会の成立に苦慮しております。
出欠回答ハガキは必ずご返送ください。
尚、同封の出欠回答ハガキは**4月30日まで**に投函ください

総会・懇親会のメール返信について

クラブニュースをメール受信されている方は、基本的には事務局宛にメールで総会出欠、懇親会出欠の有無を、そして欠席する場合は議長または出席会員への委任を明記した委任状を提出ください。

[事務局からのお知らせ]

30周年を迎えるに当たり関係資料を収集しております。平成4年から16年(1992年から2004年)の間に作成された「クラブニュース」あるいは「スキーツアーの案内」等が手元にありましたら事務局までご連絡をお願いします。

今回は、会則改訂、30周年(2015年)記念行事用活動費の徴収やその記念行事に関する意見集約等、重要な案件が討議されますので、できるだけ多くの皆様のご出席をお願いします。

V. 会則改定案の同封について

2013年度活動方針の一つである、会則の改定案がようやくまとまりました。本件は、総会の承認案件ですが当日に全文を読んですぐに判断するのは難しいと考え、事前にみなさんに内容を配布し、検討いただくことになりました。同封の会則改定案をご一読ください。墨字には改定案と新旧比較表、点字は改定案のみとなっています。なお、欠席の方でご意見を出されたい方は事務局あてにメールをお送りください。よろしくお願いいたします。

VI. 30周年記念行事準備用活動費の徴収について

2015年に発足30周年を迎えるにあたり、現在記念行事等の3つの企画が進行中です。特に本年は打合せ回数も増えることから、主に交通費として臨時に活動準備金拠出のお願いを提案しようと考えています。本件は総会

承認案件になるので詳細はその際にご説明しますが、会費と同額の¥2,000/人/年を今後2年間お願いするつもりです。皆様のご理解とご協力をお願いします。

Ⅶ. 会費の振込先変更のお知らせ

従来の郵便局口座を閉鎖し、新たに銀行口座を開設しましたのでお知らせします。今回このようにしなければならなかったのは、

- ① 郵便振込先は一時預かり口座であり、最初にここから本口座に移した後に引き出さなければならない
- ② 本口座に移す手続きは口座を開設した郵便局(泉区)でしか行えず、会費の振込は不定期なので、会計担当者は1年に何回か平日に行かなければならない
- ③ この手続きを行う際、本人確認を求められるケースがあり担当が交替する度に口座の名義変更が必要
- ④ 昨今、振り込め詐欺犯罪等の影響で、名義変更手続きが非常に煩雑かつ困難で、開設までに複数回通わなければならない

という非効率的な現状からです。一方的と思われる方もいらっしゃると思います。皆さんにご不便をおかけすることになるとも考えました。しかしタイムリーに平日、休暇を取ってこれを行うことは(私も含め)困難な状況な者もあり、また今後の担当者を探す際にこれがネックとなって候補者選びが難航することも予想されます。従って、口座の変更を行いました。この件は、総会でも改めてご説明いたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

また、年会費未納の方は、今後下記の口座へ振り込みをお願いいたします。

////////////////////////////////////
【編集後記】

早いもので、2013年度のクラブニュースもこれが最終号です。今年は副会長の増員、会則改定案の策定、30周年記念行事案の検討などの合間にライトセンターフェスティバルへの参加や各行事の実施、スキーツアー中止事件への対応となかなか忙しい1年でした。とりあえず、総会で一区切り。来年は30周年事業企画が本格化します。皆さんにも色々なことでお手伝いをお願いすることになると思いますが、よろしく願います。さて、これから会則改定案の比較表を作って寝るぞ！ そうだ、来年度はこの編集後記を他の3人の持ち回りで書いてもらおうと。

『クラブニュース編集・発行』

発行責任者 : 渋谷清二

広報Team : 福田 川添 高野 プラス白崎

<http://www.kanagawa-blindski.com/>

事務局 白崎

////////////////////////////////////